

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス プレミアムAngeli		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理の徹底を行っている。 事業所・送迎車の清掃や管理への意識が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画に沿って点検の実施 週・月・年間でスケジュール化をされている。 平日は送迎車の清掃の時間を設け、消毒や点検を行っている。 教材や玩具等用途に合わせて消毒を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備を今後も行い、安全管理への意識の向上に努める。 職員への定期的な研修を行いスキルの上昇を図る
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の満足度が高い。 児童・保護者様に寄り添った支援を行っている。 児童の自己決定に努めている。 児童のリクエストに沿った活動や野外活動を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童のしたいことや行きたいところを引き出し実行できるようリサーチを行っている。 季節のイベントや様々な場所へ野外活動の提供を行い新しいことに挑戦している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々・変化成長していく児童に合わせて職員一人ではなく、チームで支援し情報の共有し支援内容・計画にフィードバックを行う。 児童の要望に添えるために必要な集団のルールや社会のルールを学ぶ場を提供していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 食育プログラムに力を入れている。 手作りの食事の提供を行っている。 買い物体験を毎月取り入れている。 cookingの活動等自立に向けた課題の充実 収穫体験を行い食への興味を広げていく活動の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の食材を取り入れた手作りの食事の提供。食材の切り方等児童に対応し提供している。 カトラリーをひとりひとりに合わせ対応し、食事をするまでのプロセスを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事への新しい取り組みを増やす。 地域での外食支援等の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信力の弱さがある。 事業所内の環境・設備を知らないという声があげられたため。 事故対応・災害対応・緊急時の対応マニュアル等も整っており、支援プログラムのホームページへの公開、保護者様への資料の配布、避難訓練の実施(月1回)を行っているが、保護者への認知が低いと感じたため。 療育活動も新聞や口頭にて知らせているのが、児童への療育の効果や取り組みの成果が保護者様に伝わっているか曖昧。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内を見てもらう機会がない。 写真と文字だけでは目的まで伝わらない。保護者様にわかるような説明やワードの選択が出来ていない。 保護者会で説明を行う、新聞等での発信を行っているが、一定数の保護者様に伝わっていない。保護者会に参加できていない保護者様への発信ができていないため周知が低いのではないかと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の方が求める(ニーズに合った)情報発信を行っていく必要がある。 毎月発行している新聞やフェイスブックを活用。 事業所内を見学できる機会を作る。(担当者会議・イベントへの招待など)
2	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラム 面談やペアレントトレーニング、研修等の実施が思うように出来ていない現状があるため。 兄弟児交流の場が提供できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者があまり望んでいないのが現状ある。 兄弟児の年齢や兄弟児の学校の行事、部活や習い事等もあるため、必要ないと感じている方も多い。 仕事をされている保護者様は時間の確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様への聞き取りを行い必要があるかも含め、検討していく。 送迎時にコミュニケーションを取り、日頃から相談できる体制関係性を作っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 地域支援が、思うように行えていない。 地域に開かれた事業運営へ繋がられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相互(地域・事業所)での取り組みが必要だが、地域の受け入れ体制や仕組みが福岡市は弱いと感じる。地域への清掃活動への参加を試みたが、地域への発信や協力はまだまだ、浸透しておらず、一方向的に望んでも出来ないため現状があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの行事や野外活動時に地域の施設を利用することで交流、事業所への理解や認知を増やしていく。 地域の大学やボランティアの方との交流を増やしていく。